

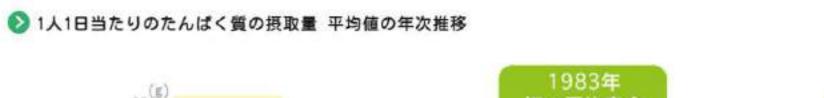






結乃未来

たんぱく質摂取状況





※昭和21年から昭和23年は都市部の数値を使用 出典:「国民健康・栄養調査」厚生労働省

出典元:キューサイ株式会社のホームページより

第4次食育推進基本計画における食育の推進に当たっての目標

6 栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす						
3	9	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を 1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	36.4%	50%以上		
3 \$	10	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を 1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	27.4%	40%以上		
*	11	1日あたりの食塩摂取量の平均値	10.1g*	8g以下		
3	12	1日あたりの野菜摂取量の平均値	280.5g*	350g以上		
3	13	1日あたりの果物摂取量100g未満の者の割合	61.6%*	30%以下		

出典:農林水產省資料

たんぱく質摂取目標かない

第5次食育推進基本計画への要望

- ◆厚生労働省が進めている健康日本21(第4次)にも、 たんぱく質の目標数量を入れて欲しい
- ◆国が、しつかりとした目標を示すことにより、国民がたんぱく質摂取の重要性を理解し、健康で楽しい生活を送れると思う

たんぱく質摂取目標を入れてください!

健康日本21(第3次)の目標

④ 野菜摂取量の増加

指標	野菜摂取量の平均値
データソース	国民健康・栄養調査 ※20 歳以上
現状値	281 g (令和元年度)
ベースライン値	- g (令和6年度:令和6年国民健康・栄養調査予定)
目標値	350g (令和 14 年度)

⑤ 果物摂取量の改善

指標	果物摂取量の平均値	
データソース	国民健康・栄養調査 ※20 歳以上	
現状値	99g(令和元年度)	
ベースライン値	- g (令和6年度:令和6年国民健康・栄養調査予定)	
目標値	200g (令和14年度)	

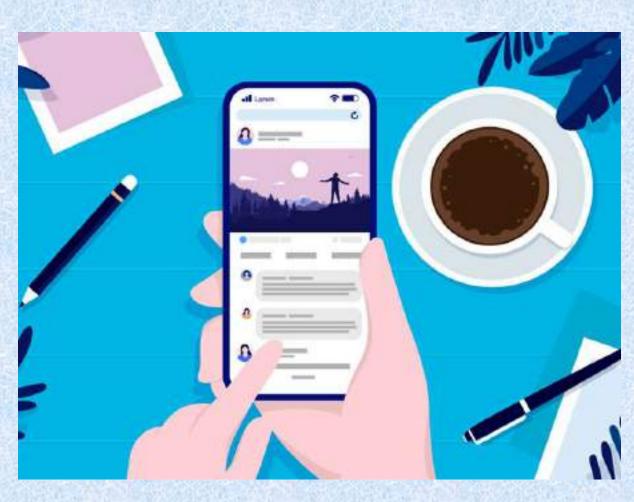
⑥ 食塩摂取量の減少

指標	食塩摂取量の平均値
データソース	国民健康·栄養調査 ※20 歳以上
現状値	10.1g (令和元年度)
ベースライン値	- g (令和6年度:令和6年国民健康・栄養調査予定)
目標値	7 g (令和14年度)

出典:厚生労働省資料

たんぱく質摂取推進アプリケーションの開発

- ◆たんぱく質の摂取量と不足量が分かる
- ◆個人に合わせた内容設定
- ◆写真を利用した入力 面倒な入力作業なし!!
- ◆不足分を補う たんぱく質摂取メニューの提案
- ◆デリバリーサービスと併用で もっと使いやすく
- ◆運動の推奨
- ◆アプリ内ポイントを 日本ハム商品に交換できる



たんぱく質摂取おべんとうの開発と提供

- ◆忙しい朝にお弁当を作る時間がない
- ◆たんぱく質がしっかり摂れる お弁当があればうれしい
- ◆日本全体のたんぱく質供給6%の 日本八ム製品を使う
- ◆さきほどのAIアプリから フードデリバリーでの発注可能!
- ◆お弁当以外のメニューも開発



たんぱく質摂取キッチンカー

◆日本ハムは、キッチンカーでエスコンフィールドで販売している シャウエッセンドッグを販売中

- ◆外食中食提供を兼ねた キッチンカーを増産
- ◆手軽にたんぱく質摂取可能な 食事を提供
- ◆まずは大学での販売 一人暮らしの学生に届ける
- ◆対面販売を活かし 食育チラシを配布・説明







結乃未来

司会 結乃未来

発表 小笠原陽波

山野華凛

吉本莉香

長谷川海大

이유림

田島良潤

スタッフ 山吉博隆 宮本雅宏

事務局 キッズキッチン

主催 農林水産省

消費·安全局

